

筑 紫

会報 第 6 9 号



発行者 社会福祉法人筑紫会 理事長 吉原 毅
 障害者支援施設 真壁授産学園 電話 0296-55-4007
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 1464-1
 障害者支援施設 真壁厚生学園 電話 0296-54-2578
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 8 5 2
 編 集 筑紫会報 編 集 委 員 会



満開の桜の木の下でお花見 真壁厚生学園／真壁授産学園

目 次

・行事のお知らせ	1 P
・統括施設長、授産学園施設長、就任挨拶	2 P
・後援会定期総会	2 P
・研修報告	3 P
・施設内外行事・イベント	4・5 P
・山田トレーナーとの個別レッスン	6 P
・あたらしい風（新規職員紹介）	6 P
・令和六年度決算報告	7 P
・ありがとう善意の心	8 P
・NHK歳末たすけあい助成事業報告	8 P
・情報発信とお知らせ	8 P
・編集後記	8 P

§ 行事のお知らせ §

十月六日	健康診断	(授産)
十月七日	健康診断	(厚生)
十一月二十三日	合同学園祭	(各施設)
十二月	クリスマス会	(各施設)
十二月二十九日	忘年会	(各施設)
十二月二十九日	冬季年末年始外泊	(授産・厚生)
一月四日	外泊帰園	(授産・厚生)
一月五日	仕事始め	(授産・厚生)
一月	新年会	(各施設)
二月四日～三月三日	真壁のひなまつり	(授産・厚生)
三月	三者面談	(授産・厚生)

今年度の冬季外泊帰省も、新型コロナウイルス感染症等の感染状況により、中止となる可能性がございますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

社会福祉法人筑紫会

統括施設長 就任のご挨拶



この度、社会福祉法人筑紫会統括施設長に就任いたしました吉原大樹（よしわらだいじゅ）と申します。昨年度までは当会常務理事及び真壁授産学園施設長として業務に励んで参りましたが、今年度より当会常務理事及び統括施設長として邁進していく運びとなりましたことを、この場をお借りして皆様にご挨拶申し上げます。これまで沢山の方々を支えて頂きながら、まがりなりにも施設長の任を全うすることができましたことに感謝申し上げますと共に、今後益々のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

当会はおかげさまで持ちまして、この約四十年間地域に根を張り社会福祉の推進に尽力することができました。これからの十年は特に社会福祉法人としての在り方が問われることになることと心得ております。障害者福祉に留まらず、地域になくはない社会資源として、社会福祉法人筑紫会は常に進化を続け邁進していく所存でございます。

真壁授産学園

施設長 就任のご挨拶

この度、令和七年四月一日付で真壁授産学園の施設長に就任いたしました高橋浩成（たかはしひろしげ）と申します。

す。積み重ねてきた実績と信頼に基づいた障害者福祉サービスはもちろん、営利法人が嫌がる制度外の社会貢献事業を精力的に行うことで、制度の狭間で適切な支援を受けられない方々に対しても手を差し伸べて参ります。

現在、子どもの貧困対策、孤立防止、健全な心身の発達の一助となるよう地域食堂の開催をはじめ、地域のいたる所に子どもの居場所を作ると共に、地域の活性化にもつながる取組として、当会発の『FUTARIBUNプロジェクト』等を実施しておりますが、今後益々地域の皆様と連携し『だれもが住みやすい、安心して暮らせる街づくり』の実践を行っていく所存でございます。

当会の常務理事・統括施設長として『夢・希望を持つて考動し、人々の幸せを願う』という経営理念と『世の中の生きづらいをなんとかする』という私自身の行動理念を胸に、これからも社会福祉、地域福祉の向上に邁進して参ります。引き続きご指導と応援を賜りますようお願い申し上げます。



日頃より当法人および事業所の運営、ご利用者様へのご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私自身、平成十四年より当施設に勤務させていただいて以来、農耕班、室内作業、金属加工作業等多岐にわたる作業をご利用者の皆様と共に従事してまいりました。さらに、作業以外にも旅行やイベントなどを通じて多くの思い出を分かち合えたことは、かけがえない財産となっております。また近年では、施設業務と併せて相談支援専門員として、桜川市を中心に福祉サービスを必要とされる方々への支援にも携わり、様々な職種や関係機関との連携を通じて地域福祉にも力を注がせていただきました。そうした中、この度、施設長という大任を仰せつかりましたことに、改めて身の引き締まる思いを抱いております。初心を忘れず、真摯な姿勢を持ち続けながら、皆様に寄り添う支援体制の構築と、安心して過ごしていただける環境づくりに全力を尽くしてまいります。今後は、管理業務が中心となりますが、これまで同様、ご利用者様との繋がりを大切にしながら一人ひとりが生きがいを感じながら日々を過ごしていただけるよう尽力いたします。

たします。今後とも、皆様方には変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

後援会定期総会開催

去る五月三日（土）、真壁厚生学園地域交流ホールにおいて、後援会定期総会が開催されました。

後援会会長、理事長、常務理事挨拶の後、今年四月より就任した吉原大樹統括施設長と高橋浩成授産学園施設長の紹介がありました。

令和六年度の事業報告、決算承認に続き、令和七年度の事業計画、収支予算（案）が承認されました。同時に、年金管理委員会定期総会も行われ、令和六年度決算、令和七年度予算（案）が共に承認されました。

また、両役員の選任も行われ、岡部正敬後援会会長の退任に伴い、後任に浅野敬繁氏、浅野敬繁副会長の後任に鳴原康博氏、袖山美保子理事の後任に大関由美子氏と中里智恵氏、工藤忠男会計の後任に高松三夫氏。年金管理委員会の浅野敬繁副会長の後任に高田章氏、工藤忠男監事の後任に高松三夫氏が新たに就任いたしました。

長年、後援会役員として尽力してくださいました岡部正敬氏には感謝状と花束を、工藤忠男氏と袖山美保子氏には花束を贈呈しました。

関東地区知的障害福祉関係職員研究大会開催

【令和七年 七月三日～四日】

関東地区知的障害福祉関係職員研究大会が茨城県水戸市で開催されました。大会は二日にわたって開催され、初日は『障害福祉の未来とそのため準備』『障害のある人の表現活動と生涯学習』の二つのテーマの講義を聞いています。二日目は各分科会に分かれ、それぞれのテーマで講義を拝聴しました。

真壁厚生学園 支援員 廣瀬祐多

▼ご利用者様の地域移行を目指して

今回は分科会のテーマがグループホーム支援についてであり、関東地区の事業者の事例について講義を受けました。講義の中で地域資源を活用したグループホーム支援がこれから必要になると話がありました。

真壁にはひな祭りという全国的に大きなイベントがあります。また、真壁町内で催されている地域的なイベントも数多くあり、こうした地域資源への積極的な参加が、今後の地域移行支援への第一歩として大切なのではないかと講義を聞いて実感しました。

実際にこうしたイベントに参加しているご利用者様もいらつしやいます

が、一部の方に限られているため、多くの方が少しでも地域と関われる機会を創出できるよう支援していければと思います。

今回、この大会に参加させていただき、関東地区の様々な事業所の話を聞くことができました。この体験を今後の業務に生かしていけるように努めていきたいと思っています。

真壁授産学園 支援員 志賀あう

▼遊び・学びを大切に

一日目の表現活動と生涯学習がテーマの講義では、講師の「障害者支援において暮らし・働きがメインになっているが、遊ぶ・学ぶというものも大切な日常の一部となっている。」という言葉が印象に残りました。

普段、ご利用者様の支援を行う際に日中は作業、それ以外の支援は生活面に重きを置きがちになっていました。が、遊ぶ・学ぶという時間もご利用者様にとっておなじく大切な日常の一つであると改めて気づかされ、意思決定支援の一つとして遊びや学びを提

供する時間を増やすことができれば、『暮らし・働き』と『遊び・学び』の相乗効果でご利用者様の日常生活がより良いものになるのではないかと感じました。

▼就労支援の課題とは：

二日目は就労支援に関する講義や事例発表を拝聴し、グループごとに意見交換を行いました。その中で的事例発表は、日々支援を行う中で直面する自身の課題とリンクする部分があり、とても参考になりました。

就労支援におけるバリアフリーとは、ご利用者様の悩みや不安といったバリアを、仕組みや環境設定において取り除くことで、ご利用者様が安心して仕事に臨むことができるという考えです。仕事の中で起きるミスや失敗はチャレンジした結果とポジティブに考え、ヒューマンエラー（誰かのミス）ではなくシステムエラー（仕組みの未熟さ）と捉えて改善のきっかけにしているとのことでした。

自身を振り返ってみると、どうしても能力の高いご利用者様に任せる仕事が多くなりがちだったように思います。が、今後はこのような考え方で作業の仕組みや環境を見直し、一人でも多くのご利用者様が安心して作業に臨めるよう努めていきたいです。

保護者の願い

令和七年六月十二日に開催された、『いばらき障害者生活サポート協会主催の定期総会及び研修会』に出席いただいた真壁厚生学園の保護者より、ご寄稿をいただきましたので、紹介いたします。

真壁厚生学園 保護者 鳴原康博様

この度、サポート協会主催の定期総会と研修会に出席してきました。今回の研修会においては、令和七年度生活サポート総合補償の改定と実務対応についての内容でした。ご利用者様本人の補償と共に、対人や対物の事故による個人賠償の補償の充実など、保険改定の説明を受けました。

親としては、ご利用者様が怪我なく安心して暮らせること、保険は加入しても『お守り』であってほしいことを願いながら帰路につきました。

■ご利用者様の安全のために

今回のご寄稿において、保険は『お守り』であってほしいという言葉が印象に残りました。筑紫会では、この言葉を胸に、今後も危険回避や事故防止に努め、ご利用者様の安全管理を徹底してまいります。

笑顔あふれる運動会

【五月三日】

快晴の中、赤（授産）、白（厚生）、に分かれ合同運動会が開催されました。『笑顔あふれる運動会』というテーマ通り職員、ご利用者様、ご父兄の笑顔があふれる運動会となりました。今年は接戦の末、（授産）が優勝しました！おめでとうございます！



真夏の夏祭り開催

【八月十一日】

当日の天気が心配されていましたが、無事に開催することができました。猛暑の中での準備、開催となりましたが、ご利用者様や保護者様、来場された多くの方々にも楽しんでいただくことができました。



旅行、外出を通じてリフレッシュ

真壁授産学園

【栃木方面へ】七月十三日～十四日

支援員 野口花織

約六年ぶりに入所ご利用者様を対象に栃木方面へ一泊二日の旅行へ出掛けました。

▼那須を満喫♪

一日目に訪れた那須どうぶつ王国では、園内の散策や買い物で満喫し、笑顔いっぱいひとときを過ごしました。

宿泊先のホテルサンバレー那須では、

夕食・朝食ともにバイキングで、普段なかなか食べる機会のない料理を含め、ご自身で食べたいものを選びながら楽しんでおり、皆さん思い思いにお腹いっぱい堪能していました。

▼宇都宮を満喫♪

二日目はまず、チーズガーデンにてお土産選び、その後、宇都宮餃子館での昼



食、最後は、

宇都宮ライト

レールの乗車体験など盛りだくさんな一日！宇都宮の魅力を存分に満喫できた一日となりました。

また行きたいね！

▼また行きたいね！

旅行から帰ってきたご利用者様からは「楽しかった！」「また行きたいね！」といった声が多く聞かれました。途中、天候が不安定な場面もありましたが、終始皆さんの表情からは、久しぶりの旅行を心から楽しんでいた様子が伝わり、職員一同嬉しく思っております。



【マカパン外出】五月十二日

マカパン店長 飯島正美

あいにくの天候ではありましたが、事前の計画通り『道の駅しもつま』→『筑波山』→『焼き肉一喜』の全行程、事故や怪我、トラブル等なく、安全かつスムーズに外出を楽しんできました。

▼パン屋さんでの体験

道の駅しもつまでは、併設されたパン屋さんに立ち寄り、ご利用者様一人ひとりが自動精算レジでの支払いを体験しました。これは、現代社会における実践的な学びの機会となり、支援員のサポートのもと、皆さま真剣に取り組まれていました。また、他店のパンの品揃えや雰囲気などに触れることで、参加者自身の仕事への気付きや刺激にも繋がりました。

▼筑波山での思い出

続いて訪れた筑波山では、ロープウェイを利用して山頂へ登り、つつじヶ丘周辺を散策しました。雨模様の中でも、自然とふれあうことでリフレッシュできた様子が見られ、心身ともに良い気分転換の機会となりました。

▼焼き肉をお腹いっぱい

昼食は桜川市の焼き肉一喜にて、事前に注文していたメニューをそれぞれ楽しめました。日頃からお世話になっている店舗での食事を通じて、感謝の気持ちを伝えることができ、今後の関係維持・



強化にも繋がる時となりました。その後は、時間の余裕があったため、ご利用者様と協議のうえ、真壁町内のセブンイレブンに立ち寄りました。各自各々にデザートを選び、購入するという買い物体験を行った後、マカパンに戻ってから皆でデザートを楽しみました。こうした自由選択や自己決定の場面も、ご利用者様にとって貴重な体験となりました。

▼有意義な取り組み

今回の外出は、単なるレクリエーションにとどまらず、『学び』『交流』『感謝』『気付き』『自己決定』など、多くの意義を含んだ、非常に有意義な取り組みとなりました。今後も、こうした活動を通じて、ご利用者様の成長と満足、そして、通所ご利用者様ご父兄を含めた、施設内外との良好な関係づくりに努めていきます。

下妻イオンにGO！

真壁厚生学園 【七月十日】

日中活動班外出にて生産活動の室内班と洗濯班のメンバーを中心に、好きなものを食べて欲しい物を買いたいと希望があり、ご利用者様十五名、職員四名で下妻イオンに行ってきました。

着いてまず目指すのは、みんな大好き二十四時間テレビのTシャツ！発売日でほとんど売り切れてしまいました。が、ゲットできた方は喜びを爆発させていました。

その後、本屋さんや雑貨屋さん、靴屋さんなど順番に買い物に行き、お目当ての物を購入しました。

テツさんと一緒に

真壁厚生学園・真壁授産学園

【六月・七月】

日頃オンライントレーニングで指導いただいている山田トレーナーが六月に厚生学園、七月に授産学園に来園され、ご利用者様に個別トレーニングをしてくださっています。

直接ご指導いただいたことで、ご利用者の皆様も楽しみながら、また個別ということで特別感も味わいながら、いつも

昼食はフードコートでラーメンや牛丼など好きなものを選んで食べ、デザートもアイスやクレープ、追加でたこ焼きも食べて、買い物より食べることに楽しいとフードコートから動かずに過ごしたご利用者様もいました。

欲しい物を買って好きな物を食べて、行きより帰りは笑顔で足取りも軽く、とても満足した外出となりました。今後もご利用者様が楽しめる外出を企画していきたいと思えます。



以上に活発に身体を動かしていました。また、職員にも様々なことを教えていただき、たいへん有意義な時間となりました。

今後も山

田トレーナーと連携を図りながら、ご利用者様の体力向上に取り組みで行きたいと思えます。



奉仕作業

【六月七日】

▼真壁授産学園 ご父兄、ご利用者様、職員が一丸となり、食堂、廊下、各居室、階段掃除に取り組みました。当日は保護者様との交流の場になり、笑顔や楽しい会話があふれる和やかな時間となりました。汗ばむ陽気でしたが、協力しながら進めることで、施設内を隅々まできれいに清掃することができました。

▼真壁厚生学園 コロナ禍以前から実に数年ぶりに保護者様とご利用者様が一緒に掃除を行いました。久しぶりに保護者様と一緒に行ったことで、ご利用者様も普段以上の笑顔と張り切りが見られ、「ここ、きれいになったね！」などの楽しい会話の時間と交流になりました。

今後も保護者の皆様のご協力を賜りつつ、学園の環境を整備してきれいに保てるよう努めます。今回、暑い中ご参加いただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



あたらしい風

新任職員のお二人を紹介いたします。紹介文は、①出身地②趣味③好きな言葉④メッセージを伺いました。

○真壁授産学園

事業推進員 三村 邦彦

- ①神奈川県川崎市
- ②短編動画の制作・配信
ドキュメンタリー・テレビ番組の視聴
グラフィックデザインの勉強
- ③和を以て貴しとなす

幸せとは、幸せを探すことである
④福祉という新しい環境の中で、少しでも皆さまのお役に立てるような活動ができればと思っています。地域的にも仕事にも『よそ者』である自分だからこそ気づく視点や経験があると考えております。どうぞよろしく願いいたします。

○真壁厚生学園

支援員 五味潤春香

- ①銚田市 ②映画鑑賞
- ③笑う門には福来る
- ④ご利用者様とのコミュニケーションや支援方法など、最初は多くの戸惑いがありましたが、職員の方々の優しく丁寧な指導のおかげで、自信を持てる部分や楽しみながら働ける機会が増えていきました。これからも成長していけるよう頑張っていきます。

令和 6 年 度 決 算 報 告

社 会 福 祉 法 人 筑 紫 会

資金収支計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位 : 円)

勘定科目	決算額
事業活動収入	599,352,476
事業活動支出	489,453,984
事業活動資金収支差額	109,898,492
施設整備等収入	2,541,138
施設整備等支出	24,972,366
施設整備等資金収支差額	-22,431,228
その他の活動収入	3,756,886
その他の活動支出	77,078,490
財務活動資金収支差額	-73,321,604
当期資金収支差額合計	14,145,660
前期末支払資金残高	301,215,270
当期末支払資金残高	315,360,930

事業活動収支計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位 : 円)

勘定科目	決算額
サービス活動収益	593,732,994
サービス活動費用	513,743,494
サービス活動増減差額	79,989,500
サービス活動外収益	5,880,596
サービス活動外費用	2,617,220
サービス活動外増減差額	3,263,376
経常増減差額	83,252,876
特別収益計	1,739,226
特別費用計	343,597
特別増減差額	1,395,629
当期活動増減差額	84,648,505
前期繰越活動増減差額	391,936,123
当期末繰越活動増減差額	476,584,628
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	3,036,706
その他の積立金積立額	74,700,000
次期繰越活動収支差額	404,921,334

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日 (単位 : 円)

資産の部		負債の部	
流動資産	361,544,175	流動負債	63,413,564
固定資産	2,413,196,823	固定負債	31,857,790
		負債の部合計	95,271,354
		純資産の部	
		基本金	326,992,931
		国庫補助金等特別積立金	
		その他の積立金	1,901,835,065
		次期繰越活動増減差額	404,921,334
		(内当期活動収支差額)	86,648,505
		純資産の部合計	2,679,469,644
資産の部合計	2,774,740,998	負債及び純資産の部合計	2,774,740,998

ありがとうございます、善意の心

保護者様をはじめ、関係者様の皆様より、雑巾や石鹸、飲料やお菓子など、たくさんの方々のお心遣いに感謝申し上げます。

●寄付・贈呈 (順不同)

榎本昭様／筑紫会後援会様
フリーダムコーポレーション様
JEK partners 様
シュエット様／蓮華様／平井商店様
塩野谷自動車商会様／木代猛様
真壁こども山車の会様／板倉雅人様
大塚たま様／工藤忠男様／齋藤俊夫様
高田章様／根本明様／広瀬均一様
古沢道子様／細野庸一様／森下松寿様
皆川美智子様／植松光子様／臼井猛様
浅野敬繁様／柴吉力様／比毛富夫様
酒寄みどり様／正根知進様／
坪野谷隆夫様／岡部正敬様／
根岸卓也様／君山誠様／高松三夫様
小須田すみ江様／岡崎憲子様

両学園の事業にご支援頂き

誠にありがとうございます。
この場をお借りいたしました。

御礼申し上げます。

NHK歳末たすけあい助成事業

【令和六年度事業報告】

▼真壁授産学園

毎年開催されるクリスマス会の一部に使用させていただきました。
当日はもちろん開催日前の準備段階で楽しみにしている声がたくさん聞かれました。

クリスマスならではの催し物やプレゼント、豪華な料理にケーキをお腹いっぱい堪能できて笑顔が溢れていました。イベントを開催したことで心身ともにリフレッシュが図れたことと、親睦をさらに深められました。

▼真壁厚生学園

中央廊下に設置するロビーチェアを購入させて頂きました。



○お知らせ○

新型コロナウイルス感染症等の状況により、**行事のお知らせ**に記載されている『真壁のひなまつり・三者面談』は中止となる場合がございますので、ご理解ご配慮くださいますよう、よろしくお願い致します。

今までより多くのご利用者が寛ぐことができ、ご利用者様同士のコミュニケーションが増え、憩いの場としても居室で過ごす時間が少なくなり、笑顔もさらに増えました。また、歩行の際により安全に介助することができるようになりました。

共同募金会様（NHK歳末たすけあい）による関係者並びに多くの皆様方のご支援にこの場をお借りいたします。心より感謝申し上げます。

●奉仕作業

真壁授産学園 二十家庭二十七名
真壁厚生学園 二十三家庭二十六名

お悔やみ申し上げます

令和七年六月六日、真壁授産学園の入所をご利用いただいていたおりました谷澤茂雄様。

八月二十三日、真壁厚生学園の入所をご利用いただいていたおりました笹目枝里様が永眠なされました。

職員並びにご利用者一同

ご冥福をお祈りいたします

筑紫会 公式 SNS にて情報発信中

味わい深い 294 コーヒーもこの機会にぜひご賞味ください◎

YouTube



Instagram



Facebook



編集後記

今年の夏も猛暑が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。残暑が厳しく、まだまだ暑い日が続きますが、熱中症には十分にお気をつけてお過ごしください。
一日でも早く秋晴れを感じたいと願うばかりです。